

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
杉田昭、小金井一隆、木村英明	Crohn 病小腸病変に対する小腸造影法の意義と治療への応用	第 95 回日本消化器病学会総会	札幌	2009 年 5 月 7 日-9 日
小金井一隆、杉田昭、木村英明	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘、回腸囊肛門管吻合術施行例の長期経過	第 95 回日本消化器病学会総会	札幌	2009 年 5 月 7 日-9 日
杉田昭、小金井一隆、木村英明、山田恭子、鬼頭文彦、福島恒男	Crohn 病手術例の術後長期経過からみた外科治療の問題点と対策	第 109 回日本外科学会定期学術総会	福岡	2009 年 4 月 2 日-4 日
小金井一隆、木村英明、杉田昭、山田恭子、二木了、鬼頭文彦、福島恒男	クローン病に造設したストーマの合併症と予後	第 109 回日本外科学会定期学術総会	福岡	2009 年 4 月 2 日-4 日
大田洋平、木村英明、小金井一隆、杉田昭、福島恒男、嶋田紘	炎症性腸疾患手術における S S I の検討	第 109 回日本外科学会定期学術総会	福岡	2009 年 4 月 2 日-4 日
辰巳健志、小金井一隆、木村英明、杉田昭、鬼頭文彦、福島恒男	クローン病術後妊娠、出産の現状と問題点	第 109 回日本外科学会定期学術総会	福岡	2009 年 4 月 2 日-4 日
小金井一隆、杉田昭、二木了、鬼頭文彦、福島恒男	難治性潰瘍性大腸炎に対する手術適応の拡大	第 43 回神奈川大腸疾病研究会	横浜	2009 年 2 月 26 日
松田諭、小金井一隆、門倉俊明、二木了、渡部頭、河俣真由美、藪野太一、三邊大介、望月康久、石山暁、高橋正純、杉田昭、鬼頭文彦	大腸全摘後に合併した直腸腫瘍に対し回腸囊直腸切除、回腸囊肛門吻合術を行った潰瘍性大腸炎の 1 例	第 303 回日本消化器病学会 関東支部例会	横浜	2009 年 2 月 21 日
杉田昭、小金井一隆、木村英明、山田恭子、二木了、鬼頭文彦、福島恒男	Cohn 病の病態にもとづいた治療法の進歩	第 5 回日本消化管学会総会	東京	2009 年 2 月 12 日
小金井一隆、杉田昭、木村英明、山田恭子、二木了、鬼頭文彦、福島恒男	難治性潰瘍性大腸炎に対する手術適応の拡大	第 5 回日本消化管学会総会	東京	2009 年 2 月 12 日
谷口和孝、池内浩基、内野 基、松岡宏樹、坂東俊宏、蝶野晃弘、富田尚裕	22 歳で colitic cancer の合併を認めた、若年発症潰瘍性大腸炎の 1 例	第 71 回日本臨床外科学会総会	京都	2009 年 11 月 19 日-21 日
内野 基、池内浩基、蝶野晃弘、松岡宏樹、竹末芳生、富田尚裕	筋膜十字切開法による loop 式回腸人工肛門造設と排出障害予防効果	第 71 回日本臨床外科学会総会	京都	2009 年 11 月 19 日-21 日
池内浩基、内野 基、松岡宏樹、坂東俊宏、蝶野晃弘、竹末芳生、富田尚裕	病態からみたクローン病症例の適切な手術時期 (ワークショップ)	第 71 回日本臨床外科学会総会	京都	2009 年 11 月 19 日-21 日
内野 基、池内浩基、蝶野晃弘、松岡宏樹、松本譽之、竹末芳生、富田尚裕	クローン病肛門病変に対する術後 inflixmab 投与の効果 (ワークショップ)	第 64 回日本大腸肛門病学会 学術集会	福岡	2009 年 11 月 6 日-7 日
池内浩基、内野 基、松岡宏樹、坂東俊宏、蝶野晃弘、富田尚裕、竹末芳生、福田能啓、松本譽之	クローン病の手術適応とタイミング (ワークショップ)	第 64 回日本大腸肛門病学会 学術集会	福岡	2009 年 11 月 6 日-7 日
内野 基、池内浩基、松岡宏樹、坂東俊宏、蝶野晃弘、竹末芳生、富田尚裕、松本譽之	潰瘍性大腸炎手術例の長期予後。(パネルディスカッション)	第 64 回日本大腸肛門病学会 学術集会	福岡	2009 年 11 月 6 日-7 日
内野 基、池内浩基、松岡宏樹、蝶野晃弘、松本譽之、竹末芳生、富田尚裕	潰瘍性大腸炎、大腸全摘、直腸粘膜切除、J 型回腸囊肛門吻合術における小開腹手術 (ビデオシンポジウム)	第 64 回日本大腸肛門病学会 学術集会	福岡	2009 年 11 月 6 日-7 日
池内浩基、内野 基、松岡宏樹、坂東俊宏、蝶野晃弘、竹末芳生、富田尚裕、松本譽之	潰瘍性大腸炎の術前内科治療の変遷と術式の選択 (シンポジウム)	第 64 回日本大腸肛門病学会 学術集会	福岡	2009 年 11 月 6 日-7 日
蝶野晃弘、内野 基、松岡宏樹、池内浩基、松本譽之、竹末芳生、富田尚裕	痔瘻発症後 17 年、人工肛門造設後 5 年で痔瘻癌を合併したクローン病の 1 例	第 64 回日本大腸肛門病学会 学術集会	福岡	2009 年 11 月 6 日-7 日
佐々木寛文、内野 基、松岡宏樹、池内浩基、松本譽之、竹末芳生、富田尚裕	手術創に壞疽性膿皮症を合併した潰瘍性大腸炎の 1 例	第 64 回日本大腸肛門病学会 学術集会	福岡	2009 年 11 月 6 日-7 日
賀来佳子、内野 基、松岡宏樹、池内浩基、松本譽之、竹末芳生、富田尚裕	術直後に Posterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) を併発した小児潰瘍性大腸炎の 1 手術例	第 64 回日本大腸肛門病学会 学術集会	福岡	2009 年 11 月 6 日-7 日
松岡宏樹、内野 基、平田晃弘、池内浩基、竹末芳生、松本譽之、富田尚裕	回腸膀胱瘻の長期間放置により発症したクローン病の 1 例	第 64 回日本大腸肛門病学会 学術集会	福岡	2009 年 11 月 6 日-7 日
池内浩基、内野 基、松岡宏樹	炎症性腸疾患のサーベイランスに FDG-PET 検査は有用か? (シンポジウム)	第 51 回日本消化器病学会大会	京都	2009 年 10 月 14 日-17 日
内野 基、池内浩基、松岡宏樹、松本譽之、竹末芳生、富田尚裕	十二指腸瘻を合併したクローン病手術症例の検討	第 51 回日本消化器病学会大会	京都	2009 年 10 月 14 日-17 日
松岡宏樹、内野 基、池内浩基、富田尚裕	潰瘍性大腸炎に対する外科手術適応の変遷 (シンポジウム)	日本消化器病学会近畿支部 第 91 回例会	京都	2009 年 9 月 12 日
池内浩基	高齢者の潰瘍性大腸炎の問題点	第 14 回関西腸疾患セミナー	大阪	2009 年 8 月 7 日
池内浩基、内野 基、中村光宏、松岡宏樹、野田雅史、竹末芳生、富田尚裕	人工肛門造設術を行ったクローン病奨励の要因別の予後と永久人工肛門となる危険因子の検討	第 64 回日本消化器外科学会総会	大阪	2009 年 7 月 16 日-18 日
内野 基、池内浩基、松岡宏樹、田中慶太、山岸大介、久野隆史、塚本 潔、外賀 真、竹末芳生、富田尚裕	潰瘍性大腸炎、小児手術症例の検討	第 64 回日本消化器外科学会総会	大阪	2009 年 7 月 16 日-18 日
池内浩基、内野 基、松岡宏樹、富田尚裕	クローン病短腸症候群症例の検討 (ワークショップ)	第 34 回日本外科系連合学会 学術集会	東京	2009 年 6 月 18 日-19 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
内野 基, 池内浩基, 坂東俊宏, 松岡宏樹, 富田尚裕	潰瘍性大腸炎術後, 創部壊疽性膿皮症を合併し治療に難渋した1例	第185回近畿外科学会	神戸	2009年6月13日
松岡宏樹, 池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 野田雅史, 外賀 真, 塚本 潔, 大嶋 勉, 久野隆史, 田中慶太, 山岸大介, 平田晃弘, 小林政義	潰瘍性大腸炎に合併する colitic cancer の診断で手術後にクローン病と病名変更となった1症例	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7日-9日
池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 富田尚裕, 松本譽之	潰瘍性大腸炎手術症例の手術適応と長期予後	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7日-9日
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 平田晃弘, 大嶋 勉, 一木 薫, 土田敏恵, 中嶋一彦, 富田尚裕, 竹末芳生	潰瘍性大腸炎手術における手術部位感染 (SSI) の検討	第109回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009年4月2日-4日
池内浩基, 内野 基, 中村光宏, 松岡宏樹, 野田雅史, 竹末芳生, 富田尚裕	クローン病に対する外科的治療の術後 QOL と長期成績 (パネルディスカッション)	第109回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009年4月2日-4日
Hirotake Sakuraba, Yoh Ishiguro, Satoko Yamaguchi, Hiroto Hiraga, Shogo Kawaguchi, Shinsaku Fukuda	TNF- $\alpha$ Production was Specifically Enhanced by Streptococcus Sanguis Cell Walls through PKR Related Pathway in Behçet's Disease	14th International Congress of Mucosal Immunology	Boston Marriott Copley Place	2009年7月7日
Ishiguro Y, Sakuraba H, Kawaguchi S, Hiraga H, Fukuda S	MDR1 Positive CD8b Dim T Cells were Predominant in Glucocorticoids Refractory Cases with UC	14th International Congress of Mucosal Immunology	Boston Marriott Copley Place	2009年7月7日
Kawaguchi S, Ishiguro Y, Sakuraba H, Hiraga H, Fukuda S	Retinoic Acid-inducible Gene-1 is Constitutively Expressed and Involved in IFN- $\gamma$ -stimulated CXCL9-11 Production in Intestinal Epithelial Cells	14th International Congress of Mucosal Immunology	Boston Marriott Copley Place	2009年7月6日
Hiraga H, Ishiguro Y, Sakuraba H, Kawaguchi S, Fukuda S	Lack of Vitamin A Impaired Innate Immunity and Exacerbated Dss-induced Colitis	14th International Congress of Mucosal Immunology	Boston Marriott Copley Place	2009年7月6日
石黒 陽, 櫻庭 裕丈, 花畑憲洋, 吉村 徹郎, 佐々木 賀広, 福田 眞作	ワークショップ1「IBDの手術適応とタイミング(外科、内科の立場から)」クローン病狭窄病変に対するステロイド (SH) 併用 Infliximab (IFX) に関する再考	第64回日本大腸肛門病学会 学術集会	福岡国際会議場	2009年11月6日
櫻庭 裕丈, 石黒 陽, 藤田 均, 佐藤 裕紀, 川口 章吾, 平賀 寛人, 福田 眞作	シンポジウム 炎症性腸疾患の免疫病態と治療法の新しい展開 Heat Shock Protein(HSP)-70の抗炎症作用と Geranylgeranylacetone (GGA) による誘導効果	第46回日本消化器免疫学会総会	松山全日空ホテル	2009年7月24日
Otani A, Ishihara S, Aziz MM, Mishima Y, Oshima N, Kadota C, Oka A, Kusunoki R, Moriyama I, Amano Y, Kinoshita Y	Intrarectal administration of MFG-E8 protein ameliorates murine experimental colitis by inhibiting NF- $\kappa$ B activation in intestinal epithelial cells	米国消化器病学会	Chicago	2009年6月3日
Mishima Y, Ishihara S, Aziz M, Oshima N, Otani A, Oka A, Kusunoki R, Moriyama I, Amano Y, Kinoshita Y	Decreased production of IL-10 and TGF- $\beta$ in TLR-activated intestinal B cells in SAMPI/Yit mice	米国消化器病学会	Chicago	2009年6月1日
Ishihara S, Aziz M, Mishima Y, Oshima N, Otani A, Oka A, Kusunoki R, Moriyama I, Ishimura M, Li YY, Amano Y, Kinoshita Y	Crosstalk between Notch and toll signaling in murine colitis	米国消化器病学会	Chicago	2009年5月31日
三島義之, 石原俊治, 木下芳一	クローン病モデルマウスにおける IL-10 産生腸管制御性 B 細胞に関する検討	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月14日
三島義之, 石原俊治, 楠 龍策, 岡 明彦, 大谷 文, 大嶋直樹, 森山一郎, 天野祐二, 木下芳一	クローン病モデルマウスにおける IL-10 産生 B 細胞に関する検討	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月9日
大谷 文, 石原俊治, 大嶋直樹, 三島義之, 岡明彦, 楠 龍策, 森山一郎, 天野祐二, 木下芳一	精製 MFG-E8 蛋白の経肛門的投与による実験腸炎抑制の試み	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月9日
根津理一郎	小児 IBD これだけは知っておきたい 外科治療のタイミング	第36回日本小児栄養消化器肝臓学会	札幌	2009年10月9日-11日
廣田昌紀, 中島清一, 根津理一郎, 長谷川順一, 三方彰喜, 金 鋪国, 吉田陽一郎, 大田浩平, 澤田元太, 吉川 澄	潰瘍性大腸炎術後の回腸囊関連合併症に対する経肛門的 salvage 手術	第64回日本消化器外科学会総会	大阪	2009年7月16日-18日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
根津理一郎	クローン病に対する低侵襲手術と栄養管理	第21回新潟CDサポートセミナー	新潟	2009年6月18日
榊田浩禎, 廣田昌紀, 根津理一郎, 松並展輝, 長谷川順一, 三方彰喜, 金 鏞国, 吉田陽一郎, 西村潤一, 大田浩平, 澤田元太, 前川昌平, 李谷友香子, 大澤日出樹, 吉川 澄	十二指腸・横行結腸瘻を合併したクローン病の1切除例	第569回大阪外科集談会	大阪	2009年5月16日
澁川成弘, 山口利朗, 川井翔一郎, 大川雅照, 富永恒平, 芝 理絵, 松岡理恵, 村田真衣子, 佐藤雅子, 新居登茂恵, 野田勝久, 山田幸則, 吉原治正, 廣田昌紀, 根津理一郎	Infliximab(IFX)導入により長期在宅静脈栄養法(HPN)から離脱可能であったクローン病の2例	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月6日-8日
根津理一郎	症例に学ぶIBD診療のpitfall	第11回Digestive Disease Renaissance	大阪	2009年4月25日
根津理一郎	潰瘍性大腸炎に対する外科治療 最近の話題	第13回21世紀の医療を考える会	大阪	2009年4月24日
水島恒和, 中島清一, 甲斐康之, 玉川浩司, 松田 宙, 山本浩文, 池田正孝, 竹政伊知朗, 関本貢嗣, 西田俊朗, 根津理一郎, 伊藤壽記, 土岐祐一郎, 森 正樹	クローン病に合併した悪性腫瘍症例の検討	第109回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009年4月3日-5日
根津理一郎	IBDに対する低侵襲外科治療	第17回IBDクラブジュニアウェスト	大阪	2009年2月28日
水島恒和, 中島清一, 甲斐康之, 玉川浩司, 松田 宙, 山本浩文, 池田正孝, 竹政伊知朗, 関本貢嗣, 西田俊朗, 根津理一郎, 伊藤壽記, 土岐祐一郎, 森 正樹	クローン病患者における大腸癌罹患率の検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日-7日
廣田昌紀, 中島清一, 長谷川順一, 金 鏞国, 吉田陽一郎, 西村潤一, 澤田元太, 李谷友香子, 根津理一郎	潰瘍性大腸炎術後の回腸囊関連合併症に対するsalvage手術:経肛門的アプローチの意義	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日-7日
澤田元太, 廣田昌紀, 李谷友香子, 西村潤一, 吉田陽一郎, 金 鏞国, 長谷川順一, 根津理一郎	回腸囊肛門吻合術後の肛門病変合併クローン病に対するInfliximab投与の経験	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日-7日
根津理一郎	潰瘍性大腸炎における腹腔鏡補助下手術の手法	第1回IBD Surgical Forum	福岡	2009年11月7日
大川清孝, 上田 渉, 佐野弘治	サイトメガロウイルス腸炎の臨床的検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日
Aizawa H, Kinouchi Y, Negoro K, Kakuta Y, Takahashi S, Endo K, Ueki N, Shiga H, Matsuura M, Kimura T, Arai T, Shimosegawa T	Candidate Gene Analysis of KIR3DL1 in Japanese Ulcerative Colitis	63. 110th annual meeting of American Gastroenterological Association	Chicago	2009年6月1日
Kimura T, Kakuta Y, Kinouchi Y, Takahashi S, Negoro K, Endo K, Umemura K, Aizawa H, Ueki N, Shiga H, Matsuura M, Arai T, Shimosegawa T	Genotype-Phenotype Analysis of the SNP (Rs6887695) Located Telomeric to I112b Reveals Association with Colonic Disease of Japanese Crohn's Disease	63. 110th annual meeting of American Gastroenterological Association	Chicago	2009年6月1日
Endo K, Kinouchi Y, Arai T, Kimura T, Ueki N, Aizawa H, Shiga H, Matsuura M, Kakuta Y, Umemura K, Negoro K, Takahashi S, Shimosegawa T	Specific Colonoscopic Findings of Intestinal Graft-Versus-Host Disease, Intestinal TMA, and CMV Colitis After Allogenic Hematopoietic Stem Cell Transplantation	63. 110th annual meeting of American Gastroenterological Association	Chicago	2009年6月1日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 藤川裕之, 小池勇樹, 松下航平, 安田裕美, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 楠正人	クローン病に対する術後インフリキシマブ維持投与の意義	第71回日本臨床外科学会総会	京都	2009年11月19日
三木誓雄, 荒木俊光, 藤川裕之, 安田裕美, 大北喜基, 吉山繁幸, 内田恵一, 楠正人	大腸全摘・回腸肛門吻合術に対する手術の工夫 大腸全摘・回腸囊肛門吻合術における直腸粘膜剥去・肛門吻合の工夫	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 藤川裕之, 小池勇樹, 松下航平, 安田裕美, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 楠正人	潰瘍性大腸炎回腸囊肛門吻合術において直腸粘膜切除開始レベルが術後痔瘻に与える影響の検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日
大北喜基, 荒木俊光, 松下航平, 小池勇樹, 藤川裕之, 大竹耕平, 吉山繁幸, 井上幹大, 内田恵一, 三木誓雄, 楠正人	インフリキシマブ投与がクローン病痔瘻術後成績に与える影響の検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月7日
内田恵一, 井上幹大, 荒木俊光, 大竹耕平, 小池勇樹, 松下航平, 吉山繁幸, 安田裕美, 藤川裕之, 三木誓雄, 楠正人	潰瘍性大腸炎の術後経過 小児潰瘍性大腸炎術後の長期成績 catch up growthについての検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日
吉山繁幸, 三木誓雄, 荒木俊光, 大北喜基, 藤川裕之, 安田裕美, 小池勇樹, 松下航平, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 楠正人	IBDの手術適応とタイミング(外科、内科の立場から) クローン病腸管病変における待機手術タイミングの検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009年11月6日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
荒木俊光, 三木誓雄, 楠正人	クローン病術後治療による再手術抑制効果の検討	第 51 回日本消化器病学会大会	京都	2009 年 10 月 16 日
大北喜基, 三木誓雄, 吉山繁幸, 荒木俊光, 内田恵一, 楠正人	潰瘍性大腸炎における手術部位感染と好中球に関連した免疫学的問題点	第 51 回日本消化器病学会大会	京都	2009 年 10 月 14 日
内田恵一, 井上幹大, 荒木俊光, 大竹耕平, 小池勇樹, 松下航平, 吉山繁幸, 大北喜基, 安田裕美, 三木誓雄, 楠正人	潰瘍性大腸炎小児手術例の QOL に影響を及ぼす合併症の検討	第 109 回日本小児外科学会学術集会	大阪	2009 年 6 月 3 日
吉山繁幸, 三木誓雄, 荒木俊光, 大北喜基, 藤川裕之, 安田裕美, 小池勇樹, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 楠正人	クローン病腸管病変における手術タイミングの検討	第 95 回日本消化器病学会	札幌	2009 年 5 月 9 日
荒木俊光, 三木誓雄, 楠正人	潰瘍性大腸炎術後の回腸囊関連性合併症の発生と治療成績の検討	第 95 回日本消化器病学会	札幌	2009 年 5 月 7 日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 藤川裕之, 安田裕美, 吉田和枝, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 楠正人	術後 QOL と長期成績からみた炎症性腸疾患に対する外科治療 潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸囊肛門吻合術の術後 QOL	第 109 回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009 年 4 月 3 日
荒木俊光, 三木誓雄, 吉山繁幸, 大北喜基, 安田裕美, 大竹耕平, 井上幹大, 内田恵一, 楠正人	潰瘍性大腸炎に対する手術時期と術後成績・QOL の関連	第 5 回日本消化管学会総会学術集会	東京	2009 年 2 月 12 日
Mizushima T, Sasaki M, Ando T, Wada T, Tanaka M, Okamoto Y, Ebi M, Hirata Y, Murakami K, Mizoshita T, Shimura T, Kubota E, Tanida S, Kataoka H, Kamiya T, JSAlexander, Kasugai K, Joh T	Blockage of Angiotensin II type 1 receptor regulates MAdCAM-1 expression via inhibition of NF- $\kappa$ B translocation to the nucleus and ameliorates colitis	The 4th Korea-Japan Inflammatory Bowel Disease Symposium	東京	2010 年 1 月 23 日
水島隆史, 佐々木誠人, 安藤朝章, 田中 守, 岡本泰幸, 小林郁生, 海老正秀, 平田慶和, 村上賢治, 溝下 勤, 志村貴也, 久保田英嗣, 和田恒哉, 小笠原尚高, 谷田論史, 片岡洋望, 神谷 武, JS Alexander, 城 卓志	マウス大腸血管内皮細胞における 1 型アンジオテンシン II 受容体を介した接着因子 MAdCAM-1 の発現調節—腸炎への治療応用を目指して—	第 46 回日本消化器免疫病学会総会	松山	2009 年 7 月 23 日
水島隆史, 佐々木誠人, 和田恒哉, 安藤朝章, 田中守, 岡本泰幸, 海老正秀, 平田慶和, 村上賢治, 溝下勤, 志村貴也, 久保田英嗣, 小笠原尚高, 谷田論史, 片岡洋望, 神谷武, JS Alexander, 城 卓志	マウス大腸血管内皮細胞における 1 型アンジオテンシン II 受容体を介した接着因子 MAdCAM-1 の発現調節	第 5 回消化管学会総会	札幌	2009 年 5 月 8 日
水島隆史, 佐々木誠人, 和田恒哉, 安藤朝章, 田中守, 岡本泰幸, 海老正秀, 平田慶和, 村上賢治, 溝下勤, 志村貴也, 久保田英嗣, 小笠原尚高, 谷田論史, 片岡洋望, 神谷武, JS Alexander, 城 卓志	1 型アンジオテンシン II 受容体を介した接着因子 MAdCAM-1 の発現調節メカニズムの解明 —腸炎への治療応用を目指して—	第 95 回消化器病学会総会	札幌	2009 年 5 月 8 日
水島隆史, 佐々木誠人, 和田恒哉, 安藤朝章, 田中守, 岡本泰幸, 海老正秀, 平田慶和, 村上賢治, 溝下勤, 志村貴也, 久保田英嗣, 小笠原尚高, 谷田論史, 片岡洋望, 神谷武, JS Alexander, 城 卓志	マウス大腸血管内皮細胞における 1 型アンジオテンシン II 受容体を介した接着因子 MAdCAM-1 の発現調節	第 5 回消化管学会総会	東京	2009 年 2 月 12 日
Minako Sako, Tokuma Tadami, Takaaki Kawaguchi, Hidezumi Kikuchi, Naoki Yoshimura, Ysumasa Hatada, Masakazu Takazoe	Investigation of bone mineral density and bone turnover in Japanese patients with Crohn's disease	第 4 回日韓炎症性腸疾患シンポジウム	Tokyo	2010 年 1 月 23 日
Masakazu Takazoe, Mamoru Watanabe, Takaaki Kawaguchi, Takayuki Matsumoto, Nobuhide Oshitani, Nobuo Hiwatashi, Toshifumi Hibi	Oral Alpha-4 Integrin Inhibitor (AJM300) in Patients with Active Crohn's Disease - A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Trial	欧州消化器病週間 (UEGW2009)	London	2009 年 11 月 23 日
Naoki Yoshimura, Takaaki Kawaguchi, Minako Sako, Toshihiko Yamaka, Masakazu Takazoe	The Association of Processed Blood Volume with the Clinical Efficacy of Selectively Depleting Elevated Granulocytes/Monocytes in Patients with Ulcerative Colitis	欧州消化器病週間 (UEGW2009)	London	2009 年 11 月 23 日
吉村直樹, 唯見徳馬, 中島真如紀, 河口貴昭 酒匂美奈子, 高添正和	重症難治性潰瘍性大腸炎に対するシクロスポリン持続静注療法の有効性と限界の検討	第 6 回日本消化管学会総会	福岡	2010 年 2 月 10 日
河口貴昭, 須賀泰世, 高添正和	クローン病患者の腸管炎症に与える食物の影響検討	第 51 回日本消化器病学会大会	京都	2009 年 10 月 17 日
吉村直樹, 酒匂美奈子, 高添正和	潰瘍性大腸炎における血球成分除去療法(高処理法)の有効性の検討	第 51 回日本消化器病学会大会	京都	2009 年 10 月 16 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
中島真如紀, 唯見徳馬, 河口貴昭, 酒匂美奈子, 吉村直樹, 高添正和	結腸全摘出術後に上部消化管病変による大量下痢をきたし摘出標本において直腸から回腸末端の広範な dysplasia を認めた潰瘍性大腸炎の1例	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月15日
酒匂美奈子, 唯見徳馬, 中島真如紀, 河口貴昭, 菊池英純, 吉村直樹, 畑田康政, 高添正和	クローン病に合併する尿路結石症と腸管病変の関係について	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月15日
吉村直樹, 鈴木康夫, 高添正和	重症難治性潰瘍性大腸炎に対するシクロスポリン持続静注療法の位置づけ	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月14日
吉村直樹, 山家敏彦, 高添正和	血球成分除去療法における高処理法の有効性の検討	第30回日本アフェレーシス学会	札幌	2009年9月12日
酒匂美奈子, 唯見徳馬, 中島真如紀, 河口貴昭, 菊池英純, 吉村直樹, 畑田康政, 高添正和	クローン病食道病変に Infliximab が著効した一例	第88回日本消化器内視鏡学会 関東地方会	東京	2009年6月12日
河口貴昭, 斎藤聡, 中島真如紀, 唯見徳馬, 酒匂美奈子, 吉村直樹, 畑田康政, 高添正和	シングルバルーン小腸内視鏡で摘出したクローン病合併小腸結石の1例	第77回日本消化器内視鏡学会総会	名古屋	2009年5月21日
中條恵一郎, 酒匂美奈子, 吉村直樹, 唯見徳馬, 中島真如紀, 河口貴昭, 斎藤聡, 畑田康政, 高添正和	シェーンライン・ヘノホ紫斑病を合併した大腸全摘後潰瘍性大腸炎の1例	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7日
吉村直樹, 鈴木康夫, 高添正和	シクロスポリン持続静注療法を導入した重症難治性潰瘍性大腸炎の長期予後の検討	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月7日
Kiyoshi Takeda	Innate immune responses at the intestinal mucosa	The 2009 Fall Conference of the Korean Association of Immunologists	Seoul	2009年11月9日-10日
Kiyoshi Takeda	Innate immune responses at the intestinal mucosa	The first CSI/JSI/KAI Joint Symposium on Immunology	Shanghai	2009年11月7日-8日
Kiyoshi Takeda	ATP from commensal bacteria induces Th17 cell development in the intestine	Regulation of innate immunity	Seoul	2009年9月17日-18日
Kiyoshi Takeda	Commensal bacteria-derived ATP mediates development of intestinal Th17 cells	RCAI-JSI International Symposium on Immunology 2009	Yokohama	2009年7月9-10日
竹田 潔	腸管粘膜に特有の自然免疫系細胞の機能	第39回日本免疫学会 学術集会	大阪	2009年12月2-4日
竹田 潔	自然免疫系の活性制御と免疫疾患	第51回日本小児血液学会	千葉	2009年11月27-29日
Kawamura YI, Toyota M, Kawamura YJ, Konishi F, Saito Y, Yajima T, Hibi T, Matsumoto T, Imai K, Dohi T	Epigenetic change causes aberrant glycosylation in ulcerative colitis and colitic cancer	The 4th Korea-Japan IBD Symposium	Tokyo	2010年1月23日
Kawamura YI, Toyota M, Kawashima R, Hagiwara T, Kawamura Y, Matsumoto T, Dohi T	DNA Hypermethylation Contributes to Incomplete Synthesis of the Sda Carbohydrate Antigen in Ulcerative Colitis-Associated Neoplasms But Not in Sporadic Colorectal Cancers	Digestive Disease Week 2009,	Chicago	2009年6月1日
河村由紀, 豊田 実, 河村 裕, 小西文雄, 斉藤幸夫, 松本 誉之, 鈴木 拓, 今井浩三, 土肥多恵子	炎症関連大腸癌では散発性大腸癌と同じ糖鎖不全が異なるメカニズムによりおこる	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月15日
河村由紀, 豊田 実, 河村 裕, 小西文雄, 斉藤幸夫, 鈴木 拓, 今井浩三, 土肥多恵子	DNA メチル化により引き起こされる Sda 糖鎖発現抑制の炎症発癌における意義	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月9日
石毛 崇, 鈴木僚子, 友政 剛, 小野真衣子, 宮澤麗子, 金子浩章, 荒川浩一	小児期クローン病における血中サイトカインの検討	日本小児栄養消化器肝臓学会	日本小児栄養消化器肝臓学会	2009年10月11日
石毛 崇, 友政 剛, 金子浩章, 鈴木僚子, 宮澤麗子, 田端雅彦, 小野真衣子, 土岐文彰, 高橋篤, 荒川浩一	外科治療を受けた小児期発症潰瘍性大腸炎の術後長期予後	日本小児栄養消化器肝臓学会	北海道大学 学術交流会館	2009年10月10日
Iiai T, Tani T, Fushiki M, Nogami H, Hatakeyama K	Ileal pouch anal anastomosis (IPAA) for ulcerative colitis: a Japanese single institute experience	ISW 2009	Adelaide	2009年9月6日-10日
飯合恒夫, 野上 仁, 島田能史, 中野雅人, 関根和彦, 谷 達夫, 畠山勝義	大出血時の潰瘍性大腸炎の手術	第71回日本臨床外科学会総会	京都	2009年11月19日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
飯合恒夫, 野上 仁, 谷 達夫, 島田能史, 中野雅人, 関根和彦, 畠山勝義	W型回腸囊肛門吻合術の標準化を目指して	第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009 年 11 月 7 日
飯合恒夫, 野上 仁, 谷 達夫, 島田能史, 中野雅人, 関根和彦, 畠山勝義	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸囊肛門吻合術後長期経過例の検討	第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009 年 11 月 6 日
関根和彦, 野上 仁, 中野雅人, 島田能史, 谷達夫, 飯合恒夫, 畠山勝義	Crohn 病に食道 GIST を併発した 1 例	第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡	2009 年 11 月 6 日
飯合恒夫, 亀山仁史, 野上 仁, 川原聖佳子, 木戸知紀, 丸山 聡, 谷 達夫, 畠山勝義	65 歳以上の高齢者潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門吻合術の検討	第 95 回日本消化器病学会総会	札幌	2009 年 5 月 8 日
野上 仁, 木戸知紀, 川原聖佳子, 丸山 聡, 谷 達夫, 飯合恒夫, 畠山勝義	当科で経験した直腸炎型潰瘍性大腸炎の検討	第 95 回日本消化器病学会総会	札幌	2009 年 5 月 8 日
亀山仁史, 飯合恒夫, 畠山勝義	潰瘍性大腸炎に対する外科的治療の成績と QOL 評価	第 95 回日本消化器病学会総会	札幌	2009 年 5 月 7 日
亀山仁史, 飯合恒夫, 須田和敬, 丸山 聡, 谷達夫, 畠山勝義	潰瘍性大腸炎術後の QOL の評価	第 109 回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009 年 4 月 3 日
飯合恒夫, 谷 達夫, 丸山 聡, 畠山勝義	緊急手術例からみた潰瘍性大腸炎手術のタイミング	第 5 回日本消化管学会総会	東京	2009 年 2 月 13 日
Koyama F, Fujii H, Nakagawa T, Uchimoto K, Nakamura A, Ueda T, Nishigori N, Inatsugi N, Yoshikawa S, Nakajima Y	The clinical course and endoscopic features of pouchitis in patients who received pouch operation for ulcerative colitis	The 4th Korea-Japan Inflammatory Bowel Disease Symposium	Tokyo	2010 年 1 月 23 日
植田剛, 小山文一, 中川正, 内本和晃, 大槻憲一, 中村信治, 錦織直人, 藤井久男, 中島祥介	大腸全摘・回腸肛門吻合術に対する手術の工夫 大腸全摘・回腸囊肛門吻合術における粘膜剥去法の工夫 ローンスターレトラクターと回転式開肛器を用いた粘膜下層注入併用による経肛門的粘膜剥去法 (ビデオシンポジウム)	第 64 回日本大腸肛門病学会総会	福岡	2009 年 11 月 7 日
中川正, 藤井久男, 小山文一, 内本和晃, 大槻憲一, 中村信治, 植田剛, 中島祥介, 吉川周作, 稲次直樹	IBD の手術適応とタイミング (外科, 内科の立場から) 就学期における難治性潰瘍性大腸炎の手術適応について (ワークショップ)	第 64 回日本大腸肛門病学会総会	福岡	2009 年 11 月 6 日
小山文一, 藤井久男, 中川正, 内本和晃, 大槻憲一, 中村信治, 植田剛, 錦織直人, 中島祥介, 吉川周作, 稲次直樹	潰瘍性大腸炎の術後経過 潰瘍性大腸炎 (UC) 術後 Pouchitis の診断と経過 (パネルディスカッション)	第 64 回日本大腸肛門病学会総会	福岡	2009 年 11 月 6 日
中村信治, 庄雅之, 小山文一, 野見武男, 赤堀宇広, 榎本浩士, 中川正, 内本和晃, 大槻憲一, 山戸一郎, 植田剛, 藤井久男, 中島祥介	エリスロポイエチンの炎症性腸疾患に対する新規治療の可能性	第 109 回日本外科学会定期学術集会	福岡	2009 年 4 月 2 日
Tatsushi Omatsu, Yuji Naito, Tomohisa Takagi, Katsura Mizushima, Hitomi Okada, Ken Inoue, Shinya Yamada, Kohei Fukumoto, Akihito Harusato, Ikuhiro Hirata, Tomoko Oya-Ito, Kazuhiko Uchiyama, Osamu Handa, Nobuaki Yagi, Satoshi Kokura, Hiroshi Ichikawa, Toshikazu Yoshikawa	Proteomic discovery of the down-regulation of peroxiredoxin-6 in murine dextran sodium sulfate-induced colitis	UEGW2009	London	2009 年 11 月 24 日
Tatsushi Omatsu, Yuji Naito, Tomohisa Takagi, Katsura Mizushima, Hitomi Okada, Ken Inoue, Shinya Yamada, Kohei Fukumoto, Akihito Harusato, Ikuhiro Hirata, Tomoko Oya-Ito, Osamu Handa, Nobuaki Yagi, Satoshi Kokura, Hiroshi Ichikawa, Toshikazu Yoshikawa	The exhaustive proteomics revealed the down-regulation of peroxiredoxin-6 in murine dextran sodium sulfate-induced colitis	ICMI2009	Boston	2009 年 7 月 7 日
Tatsushi Omatsu, Yuji Naito, Tomohisa Takagi, Katsura Mizushima, Hitomi Okada, Kohei Fukumoto, Akihito Harusato, Ikuhiro Hirata, Yoko Hamano, Tomoko Oya-Ito, Osamu Handa, Nobuaki Yagi, Satoshi Kokura, Hiroshi Ichikawa, Hideshi Fujiwake, Toshikazu Yoshikawa	Decreased Expression of Peroxiredoxin-6 in Murine Dextran Sodium Sulfate-Induced Colitis Identified by 2-Dimensional Fluorescence Difference in Gel Electrophoresis	DDW2009	Chicago	2009 年 5 月 31 日
尾松達司, 内藤裕二, 高木智久, 水島かつら, 岡田ひとみ, 福本晃平, 春里暁人, 平田育大, 内山和彦, 半田 修, 八木信明, 古倉 聡, 市川 寛, 吉川敏一	マウス腸炎モデルに対するプロテオミクスの手法を用いたアプローチ〜ペルオキシレドキシシン 6 発現低下の発見〜	第 46 回日本消化器免疫学会総会	松山	2009 年 7 月 23 日
尾松達司, 内藤裕二, 高木智久, 水島かつら, 岡田ひとみ, 福本晃平, 春里暁人, 平田育大, 半田 修, 古倉 聡, 市川 寛, 吉川敏一	マウス腸炎モデルに対する網羅的蛋白解析によるアプローチ〜ペルオキシレドキシシン 6 の役割〜	第 95 回日本消化器病学会総会	北海道	2009 年 5 月 8 日
竹内健, 飯田貴之, 花井洋行	小腸クローン病に対する CT enterography の有用性についての検討	JDDW2009	京都国際会議場	2009 年 10 月 16 日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
竹内健、飯田貴之、花井洋行	Virtual endoscopyによる炎症性腸疾患の診断—内視鏡的重症度との比較—	第77回日本消化器内視鏡学会総会	名古屋国際会議場	2009年5月23日
竹内健、飯田貴之、花井洋行	クローン病小腸病変に対するCT colonographyによる病変評価と治療法選択の考察	第95回日本消化器病学会総会	北海道厚生年金会館ウエルシティ札幌	2009年5月8日
二見喜太郎、東大二郎、酒井憲見、三上公治、紙谷孝則、永川祐二、富安孝成、石橋由紀子、二木了、石井文規、張村貴紀、前川隆文	Crohn病に対するStrictureplastyの長期経過	第71回日本臨床外科学会総会	京都国際会議場	2009年11月19日-21日
東大二郎、二見喜太郎、石橋由紀子、富安孝成、田中亮介、張村貴紀、石井文規、二木了、前川隆文	クローン病治療における外科介入症例の変化	第71回日本臨床外科学会総会	京都国際会議場	2009年11月19日-21日
二見喜太郎、東大二郎、酒井憲見、三上公治、永川祐二、富安孝成、石橋由紀子、二木了	潰瘍性大腸炎外科治療における肛門病変のかかわり	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡国際会議場	2009年11月6日-7日
永川祐二、二見喜太郎、東大二郎、酒井憲見、三上公治、富安孝成、石橋由紀子、二木了、前川隆文	高齢者潰瘍性大腸炎の術後経過	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡国際会議場	2009年11月6日-7日
東大二郎、二見喜太郎、石橋由紀子、富安孝成、二木了、前川隆文、小野陽一郎、松井敏幸	画像所見を加味したクローン病痔瘻に対するインブリキシマブ治療の検討	第64回日本大腸肛門病学会学術集会	福岡国際会議場	2009年11月6日-7日
東大二郎、二見喜太郎、永川祐二、富安孝成、石橋由紀子、張村貴紀、田中亮介、佐藤啓介、石井文規、前川隆文	クローン病における緊急手術症例の検討	第64回日本消化器外科学会総会	大阪国際会議場	2009年7月16日-18日
東大二郎、二見喜太郎、永川祐二、富安孝成、石橋由紀子、田中亮介、佐藤啓介、前川隆文	クローン病に合併した肛門部癌の検討	第109回日本外科学会定期学術集会	福岡国際会議場	2009年4月2日-4日
Higashiyama Masaaki, Hokari Ryota, Matsunaga Hisayuki, Ueda Toshihide, Watanabe Chikako, Nakamura Mitsuyasu, Komoto Shunsuke, Okada Yoshiaki, Kurihara Chie, Kawaguchi Atsushi, Nagao Shigeaki, Miura Soichiro	Cilostazol, a specific PDE-3 inhibitor, ameliorates chronic ileitis via suppression of monocytes recruitment to small intestine	2009 Digestive Disease Week Program	Chicago	2009年6月3日
Hokari Ryota, Kurihara Chie, Okada Yoshiaki, Komoto Shunsuke, Nakamura Mitsuyasu, Higashiyama Masaaki, Ueda Toshihide, Nagao Shigeaki, Kawaguchi Atsushi, Miura Soichiro	Proinflammatory roles of lipocalin-type-prostaglandin D synthase in colonic mucosal inflammation	2009 Digestive Disease Week Program	Chicago	2009年6月3日
Higashiyama Masaaki, Hokari Ryota, Ueda Toshihide, Nakamura Mitsuyasu, Komoto Shunsuke, Okada Yoshiaki, Kurihara Chie, Kawaguchi Atsushi, Nagao Shigeaki, Miura Soichiro	IFN-alpha increases rolling of monocytes via platelet-monocyte interaction in murine intestinal microvessels	2009 Digestive Disease Week Program	Chicago	2009年6月3日
Ueda Toshihide, Hokari Ryota, Matsunaga Hisayuki, Higashiyama Masaaki, Kurihara Chie, Takebayashi Koichi, Okudaira Keisuke, Watanabe Chikako, Okada Yoshiaki, Komoto Shunsuke, Nakamura Mitsuyasu, Kawaguchi Atsushi, Nagao Shigeaki, Miura Soichiro	Interleukin-18 is involved in the process of exacerbation of murine colitis by psychological stress	2009 Digestive Disease Week Program	Chicago	2009年6月3日
Matsunaga Hisayuki, Bao Xiuliang, Werther Lawrence, Miura Soichiro, Itzkowitz Steven H	The effect of altering trefoil factor-3 (TFF3) expression on gene expression and function in human gastrointestinal cancer cells	2009 Digestive Disease Week Program	Chicago	2009年6月3日
三浦総一郎	腸管炎症における脂肪摂取の功罪	第47回小腸研究会	福岡	2009年11月14日
栗原千枝、穂苺量太、東山正明、上田俊秀、渡辺知佳子、高本俊介、岡田義清、川口淳、永尾重昭、三浦総一郎	小腸炎モデルマウスのマクロファージにおけるサイトカイン産生への脂肪酸の影響	第51回日本消化器病学会大会	京都	2009年10月14日
松永久幸、穂苺量太、東山正明、上田俊秀、三浦総一郎	単球マイグレーションの制御をターゲットとしたマウス慢性小腸炎の治療	第46回日本消化器免疫学会総会	松山	2009年7月24日
岡田義清、都築義和、東山正明、上田俊秀、栗原千枝、穂苺量太、中村光康、川口淳、永尾重昭、三浦総一郎	Bifidobacterium属菌体によるLPS刺激下マクロファージ系細胞への抗炎症効果とその作用機序	日本食品免疫学会2009年度大会	東京	2009年5月27日
上田俊秀、穂苺量太、松永久幸、東山正明、渡辺知佳子、高本俊介、中村光康、栗原千枝、岡田義清、川口淳、永尾重昭、三浦総一郎	マウスDSS大腸炎における精神的ストレスの影響	第95回日本消化器病学会総会	札幌	2009年5月9日
Noboru Mizushima	Nutrient-dependent regulation of autophagy in mammals	第32回日本分子生物学会年会	Yokohama	2009年12月9日-12日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Noboru Mizushima	Molecular mechanism of autophagy regulation	The 4th Internatioal Workshop on Cell Regulations in Division and Arrest Under Stress	Okinawa	2009年11月29日 - 12月3日
Noboru Mizushima	Molecular mechanism of autophagy induction and autophagosome formation in mammalian cells	The EMBO Conference on Autophagy: Cell Biology, Physiology and Pathology		2009年10月19日
Noboru Mizushima	Molecular mechanism of autophagy regulation	The 4th International Congress on Stress Responses in Biology and Medicine	Sapporo	2009年10月6日 -9日
Noboru Mizushima	Regulation of autophagosome formation in mammalian cells	The 5th International Symposium of Autophagy	Otsu	2009年9月21日 -24日
Noboru Mizushima	Molecular mechanism of autophagosome formation in mammalian cells	The 21st IUBMB and 12th FAOBMB International Congress of Biochemistry and Molecular Biology	Shanghai	2009年8月3日-7日
Noboru Mizushima	The role of autophagy in protein metabolism: starvation adaptation, egg-to-embryo transition and intracellular clearance	The 9th World congress on inflammation	Tokyo	2009年7月8日
Noboru Mizushima	Molecular mechanism of autophagy regulation in mammalian cells	Gordon conference "Stress Proteins In Growth, Development & Disease"	Andover, USA	2009年6月28日-7月3日
Noboru Mizushima	Molecular mechanism of autophagy regulation	Keystone	Vancouver	2009年3月1日
水島 昇	オートファジー：細胞内リサイクルの生物学	第82回日本生化学会大会	神戸	2009年10月21日 -24日
水島 昇	The role of autophagy in tumor suppression	第68回日本癌学会学術総会	横浜	2009年10月3日
本谷 聡	ワークショップ「炎症性腸疾患の新治療」基調講演：免疫調節剤と生物製剤を用いた現在の炎症性腸疾患治療	第6回日本消化管学会総会	福岡国際会議場	2010年2月19日
本谷 聡、田中浩紀、下立雄一、今村哲理	ワークショップ「潰瘍性大腸炎：内科治療はどこまで可能か」Infliximabによる難治性潰瘍性大腸炎の手術回避を目指した長期治療戦略	第6回日本消化管学会総会	福岡国際会議場	2010年2月20日
下立雄一、本谷 聡、今村哲理	ワークショップ「クローン病治療に対する分子標的治療」クローン病に対するInfliximab長期臨床成績	第6回日本消化管学会総会	福岡国際会議場	2010年2月20日
本谷 聡、渡邊秀平、下立雄一	ワークショップ「炎症性腸疾患治療における免疫抑制剤の位置づけ」Infliximab 計画的維持投与における免疫抑制剤併用によるクローン病の長期寛解維持・瘢痕治癒効果	第51回日本消化器病学会大会 (JDDW2009)	国立京都国際会館	2009年10月14日
本谷 聡、下立雄一、今村哲理	ワークショップ「クローン病と新たに保険適応された GCAP 療法」クローン病に対する顆粒球吸着除去療法 (GCAP/GMA) の有用性と位置づけに関する考察	第30回日本アフェレンス学会学術大会	京王プラザホテル 札幌	2009年9月12日
下立雄一、渡邊秀平、本谷 聡	シンポジウム「潰瘍性大腸炎の治療の進歩：ガイドラインを超えて」潰瘍性大腸炎における顆粒球除去療法 (GCAP) の臨床成績：ステロイドナীব例とステロイド既存投与例を比較して	第77回日本消化器内視鏡学会総会	名古屋国際会議場	2009年5月22日

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
本谷 聡	「クローン病治療の新ストラテジー」クローン病に対する顆粒球吸着除去療法 (GCAP/GMA) の有用性と位置づけ	第 96 回日本消化器病学会総会	ロイトン 札幌	2009 年 5 月 9 日
下立雄一、渡邊秀平、本谷 聡	シンポジウム「潰瘍性大腸炎の長期予後」Infliximab による難治性潰瘍性大腸炎の長期治療戦略	第 95 回日本消化器病学会総会	ロイトン 札幌	2009 年 5 月 7 日
余田篤	炎症性腸疾患 (IBD) 治療の進歩と QOL 小児期潰瘍性大腸炎の内科治療	第 36 回日本小児栄養消化器肝臓学会	札幌	2009 年 10 月 11 日
Kenji Watanabe, Mitsue Sogawa, Shuhei Hosomi, Yoshie Ito, Kenichi Morimoto, Masaki Takatsuka, Noriko Kamata, Hirokazu Yamagami, Toshio Watanabe, Kazunari Tominaga, Yasuhiro Fujiwara, Tetsuo Arakawa	The Efficacy of Retrograde Deep Insertion of Single Balloon Endoscopy for Patients With Crohn's Disease at Times of Conventional Colonoscopy on Outpatients: Prospective, Open-label, Feasibility Study	UEGW2009	London	2009 年 11 月 23 日
Kenji Watanabe, Mitsue Sogawa, Shuhei Hosomi, Kenichi Morimoto, Takehisa Suekane, Noriko Kamata, Natsuhiko Kameda, Hirohisa Machida, Hirotoshi Okazaki, Tetsuya Tanigawa, Hirokazu Yamagami, Kazunari Tominaga, Toshio Watanabe, Yasuhiro Fujiwara, Nobuhide Oshitani, Tetsuo Arakawa	The Efficacy of Retrograde Deep Insertion of Single Balloon Endoscopy for Patients With Crohn's Disease at Times of Conventional Colonoscopy on Outpatients: Prospective, Open-label, Feasibility Study	DDW2009	Chicago	2009 年 6 月 1 日
渡辺憲治、鎌田紀子、山上博一	クローン病小腸病変に対する Infliximab の内視鏡的有効性と投与法の工夫	第 95 回日本消化器病学会総会	札幌	2009 年 5 月 8 日
渡辺憲治、鎌田紀子、押谷伸英	当科における Infliximab 治療後に外科手術を要した症例の検討	第 5 回日本消化管学会総会学術集会	東京	2009 年 2 月 12 日

## V. 社会活動報告

社会活動に関する一覧表

活動者名 (所属施設)	会の名称および講演演題等	会場および新聞名等	活動年月日
渡辺 守 (東京医科歯科大学)	炎症性腸疾患の治療をめぐって「IBD 診療の進歩と近未来像—治る時代へ—」第 25 回長崎炎症性腸疾患研究会	長崎大学医学部良順会館ボードインホール	2009 年 9 月 26 日
渡辺 守 (東京医科歯科大学)	第 2 の脳「腸」を知って病気を治す 第 58 回日本消化器病学会関東支部市民公開講座	霞ヶ浦観光ホテル	2009 年 9 月 19 日
渡辺 守 (東京医科歯科大学)	IBD 診療のシンポと近未来像—治る時代へ—第 6 回 市民公開講座～炎症性腸疾患の治療をめぐって～	徳島大学長井記念ホール	2009 年 5 月 17 日
藤山佳秀 (滋賀医科大学附属病院 IBD センター)	IBD 市民公開講座	草津市民交流プラザ	2010 年 3 月 7 日
仲瀬裕志 (京都大学)	京都 IBD 友の会・患者講演会	ハートピア京都	2009 年 12 月 13 日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター佐倉病院)	難病相談会「炎症性腸疾患個別相談会」	千葉市中央保健所	2009 年 12 月 5 日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター佐倉病院)	難病講演会「炎症性腸疾患の最新情報」	千葉県・佐倉市	2009 年 10 月 27 日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター佐倉病院)	炎症性腸疾患市民公開講座「クローン病の最新治療」	埼玉県越谷市	2009 年 10 月 18 日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター佐倉病院)	難病市民公開講座「クローン病治療の最新情報」	千葉市中央保健所	2009 年 9 月 29 日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター佐倉病院)	難病講演会「炎症性腸疾患の最新情報」	千葉県・館山市	2009 年 9 月 9 日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター佐倉病院)	医学の焦点「炎症性腸疾患：抗サイトカイン療法の現状」	ラジオ NIKKEI	2009 年 7 月 27 日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター佐倉病院)	難病相談会「炎症性腸疾患個別相談会」	千葉市中央保健所	2009 年 6 月 19 日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター佐倉病院)	医学の焦点「炎症性腸疾患：最新の診療現況」	ラジオ NIKKEI	2009 年 3 月 11 日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター佐倉病院)	難病相談会「炎症性腸疾患個別相談会」	千葉市中央保健所	2009 年 2 月 17 日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター佐倉病院)	難病講演会「炎症性腸疾患診療の最新情報」	佐原市・香取保健所	2009 年 2 月 10 日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター佐倉病院)	日本炎症性腸疾患研究会市民公開講座「潰瘍性大腸炎の最新情報」	東京	2009 年 2 月 8 日
上小鶴孝二 (兵庫医科大学)	龍野市難病連絡協議会難病医療相談会 炎症性腸疾患の理解と日常生活について—病気と上手につきあうために—	龍野	2010 年 2 月 13 日
樋田信幸 (兵庫医科大学)	炎症性腸疾患における治療の進歩. 第 4 回炎症性腸疾患市民公開講座 (炎症性腸疾患研究会, 味の素ファルマ(株)共催)	盛岡	2010 年 1 月 23 日
松本譽之 (兵庫医科大学)	クローン病・潰瘍性大腸炎の最新治療の現況. 急激に増えている腸の病気 潰瘍性大腸炎・クローン病市民公開講座 (埼玉 IBD の会, 田辺三菱製薬(株)共催)	大宮	2009 年 12 月 12 日
中村志郎 (兵庫医科大学)	クローン病学習医療相談会 (大阪府富田林保健所主催) クローン病の病態と治療 最新の治療について	富田林	2009 年 11 月 18 日
應田義雄 (兵庫医科大学)	尼崎市難病団体連絡協議会医療相談会 クローン病・潰瘍性大腸炎について.	尼崎	2009 年 9 月 13 日
飯室正樹 (兵庫医科大学)	西宮市難病団体連絡協議会平成 21 年度難病医療相談会 炎症性腸疾患について.	西宮	2009 年 8 月 30 日
松本譽之 (兵庫医科大学)	堺市難病支援ネットワーク協議会講演会 潰瘍性大腸炎の病態と治療 基本から最近の治療法の進歩まで	堺	2009 年 8 月 9 日
松本譽之 (兵庫医科大学)	兵庫医大が新拠点	神戸新聞	2009 年 6 月 19 日
松本譽之 (兵庫医科大学)	兵庫医大に治療施設	読売新聞	2009 年 6 月 13 日
松本譽之 (兵庫医科大学)	炎症性腸疾患センター開設	毎日新聞	2009 年 6 月 10 日
松本譽之 (兵庫医科大学)	兵庫医大に専門センター	朝日新聞	2009 年 6 月 10 日
吉田幸治 (兵庫医科大学)	NPO 法人 Japan IBD 和歌山講演会市民公開講座 クローン病の最新治療 中級編.	和歌山	2009 年 4 月 19 日
杉田 昭 (横浜市立市民病院)	第 45 回湘南免疫疾患カンファレンス 教育講演 炎症性腸疾患の外科治療—主にベーチェット病について	横浜	2009 年 11 月 28 日
杉田 昭 (横浜市立市民病院)	第 6 回筑後 IBD を学ぶ会 炎症性腸疾患における外科的治療の位置づけ	久留米	2009 年 11 月 7 日
杉田 昭 (横浜市立市民病院)	第 1 回 IBD Surgical Forum 潰瘍性大腸炎における開腹手術の手技	福岡	2009 年 11 月 7 日

社会活動に関する一覧表

活動者名 (所属施設)	会の名称および講演演題等	会場および新聞名等	活動年月日
杉田 昭 (横浜市立市民病院)	第36回日本小児栄養消化器肝臓学会 IBD 市民公開講座 小児の炎症性腸疾患の治療 -患者、家族のQOLの向上をめざして- 外科のお話	札幌	2009年10月11日
杉田 昭 (横浜市立市民病院)	第73回宮城IBD研究会 炎症性腸疾患に対する外科治療の位置付け	仙台	2009年9月18日
杉田 昭 (横浜市立市民病院)	潰瘍性大腸炎・クローン病講演会 自分の状態を知っていますか	横須賀	2009年9月5日
杉田 昭 (横浜市立市民病院)	第20回山陰炎症性腸疾患治療研究会 クロウン病に対する外科治療の位置付け	島根	2009年8月22日
杉田 昭 (横浜市立市民病院)	第2回鹿児島IBDフォーラム Crohn病に対する外科的治療の位置付け	鹿児島	2009年5月19日
杉田 昭 (横浜市立市民病院)	高知IBDフォーラム 炎症性腸疾患-外科治療の位置付け	高知	2009年3月27日
池内浩基 (兵庫医科大学)	クローン病に対する外科治療の現状と新たな可能性. IBD SEMINAR	川崎医科大学 別館6階「大会議室」	2009年11月9日
池内浩基 (兵庫医科大学)	炎症性腸疾患に対する外科治療の現状. 滋賀IBDフォーラム医療講演会	滋賀県立県民交流センター 大津	2009年10月3日
池内浩基 (兵庫医科大学)	炎症性腸疾患とストーマ管理の問題点. 第26回北海道ストーマリハビリテーション研究会学術集会	札幌医科大学附属病院	2009年9月26日
池内浩基 (兵庫医科大学)	内科医に知ってほしいIBD外科治療. 徳島炎症性腸疾患講演会	ホテルクレメント徳島	2009年9月24日
池内浩基 (兵庫医科大学)	炎症性腸疾患の外科治療の現状. (特別講演) 第32回愛媛炎症性腸疾患研究会	リジェール松山	2009年9月19日
池内浩基 (兵庫医科大学)	IBDセンターの設立とクローン病に対する外科治療の現状について. 兵庫IBD連携Meeting	神戸ポートピアホテル	2009年8月8日
池内浩基 (兵庫医科大学)	内科医に知っていて欲しい外科からの要望. (基調講演) 第32回IBD Club Jr. 研究会	東京コンファレンスセンター (品川)	2009年6月20日
池内浩基 (兵庫医科大学)	腸を守る 外科編. (教育講演) エレメンタル講演会	大阪(味の素ファルマ)	2009年4月25日
石黒 陽 (弘前大学)	第506回八戸胃腸研究会 潰瘍性大腸炎の診断と治療	八戸グランドホテル	2010年2月12日
根津理一郎 (大阪労災病院)	小児炎症性腸疾患市民公開講座「Q & A コーナー」	大阪	2009年11月14日
根津理一郎 (大阪労災病院)	第3回IBDの子どもと歩む会 「潰瘍性大腸炎とクローン病の手術の実際」	大阪	2009年9月13日
根津理一郎 (大阪労災病院)	奈良県クローン病・潰瘍性大腸炎ネットワーク NARA FRIENDS 家族会講演会「IBDの最新情報と家族支援」	橿原	2009年7月12日
水島恒和 (大阪大学)	医療講演会「潰瘍性大腸炎・クローン病の外科治療」	堺	2009年3月22日
根津理一郎 (大阪労災病院)	近畿大学臨床研修センター勉強会「炎症性腸疾患における治療の現況」	大阪狭山市	2009年3月19日
根津理一郎 (大阪労災病院)	和歌山市保健所 医療相談会「クローン病の治療と在宅療養について」	和歌山	2009年2月21日
大川清孝 (大阪市立総合医療センター)	炎症性腸疾患の内視鏡診断 第22回日本消化器内視鏡学会近畿セミナー	大阪国際交流センター	2009年1月18日
大川清孝 (大阪市立総合医療センター)	感染性腸炎の鑑別診断-内視鏡像を中心に 第37回西神播磨消化器懇話会	西神戸医療センター	2009年1月15日
板橋道朗 (東京女子医科大学)	若手IBD勉強会	デュプレックス府中	2010年3月6日-7日
板橋道朗 (東京女子医科大学)	若手IBD勉強会	デュプレックス府中	2009年7月4日-5日
板橋道朗 (東京女子医科大学)	知っておきたい外科手術のすべて	ccJAPAN	2009年6月26日
楠 正人 (三重大学大学院医学系研究科)	岐阜難病医療福祉相談会 「炎症性腸疾患に対する外科治療について」	岐阜	2009年12月6日
佐々木誠人 (名古屋市立大学大学院医学研究科)	難病ふれあい教室. 潰瘍性大腸炎・クローン病の最近の治療	大垣市中川ふれあいセンター	2009年2月8日
清水誠治 (大阪鉄道病院)	神奈川炎症性腸疾患講演会: 炎症性腸疾患の鑑別診断	横浜	2009年11月27日
清水誠治 (大阪鉄道病院)	第89回大阪鉄道病院市民健康講座: 「腸炎のいろいろ」	大阪	2009年11月24日
清水誠治 (大阪鉄道病院)	木曜会: 虚血性大腸炎と collagenous colitis	東京	2009年10月8日
清水誠治 (大阪鉄道病院)	第15回消化器ざっくばらんフォーラム: 講演「腸の炎症10題」	京都	2009年7月18日
清水誠治 (大阪鉄道病院)	GIフロンティア: 講演「虚血性大腸炎」	東京	2009年7月4日

社会活動に関する一覧表

活動者名 (所属施設)	会の名称および講演演題等	会場および新聞名等	活動年月日
清水誠治 (大阪鉄道病院)	第10回長野県大腸疾患研究会:講演「炎症性腸疾患の鑑別診断」	松本	2009年6月27日
清水誠治 (大阪鉄道病院)	第276回兵庫消化管研究会:講演「感染性腸炎・診断へのヒント」	神戸	2009年6月18日
高添正和 (社会保険中央総合病院)	足柄上郡難病医療相談会・講演会	足柄上保健所	2009年11月17日
高添正和 (社会保険中央総合病院)	東京都難病セミナー	東京都庁	2009年9月17日
高添正和 (社会保険中央総合病院)	秋川流域第4回市民健康フォーラム	秋川キララホール	2009年9月12日
高添正和 (社会保険中央総合病院)	CDの集い	三河安城家田病院	2009年9月6日
高添正和 (社会保険中央総合病院)	北区難病医療相談会・講演会	王子保健所	2009年8月20日
飯合恒夫 (新潟大学大学院医歯学総合研究科)	炎症性腸疾患の外科治療～どんなときにどんな手術を行うの? TENVY 医療の広場 2009 夏季市民公開メディカルセミナー	新潟	2009年7月26日
藤井久男 (奈良県立医科大学)	NARA FRIENDS 秋の交流会	大阪海遊館	2009年10月25日
藤井久男 (奈良県立医科大学)	第6回奈良県炎症性腸疾患市民公開講座	奈良県総合社会福祉センター	2009年9月6日
藤井久男 (奈良県立医科大学)	難病医療相談会	奈良県難病相談支援センター	2009年8月27日
藤井久男 (奈良県立医科大学)	NARA FRIENDS 家族交流会	奈良県総合社会福祉センター	2009年7月12日
藤井久男 (奈良県立医科大学)	NARA FRIENDS 交流会	奈良県総合社会福祉センター	2009年5月24日
二見喜太郎 (福岡大学筑紫病院)	クローン病における肛門部の臨床【第45回神奈川大腸疾患研究会】	横浜市健康福祉センター 4階	2010年1月28日
二見喜太郎 (福岡大学筑紫病院)	炎症性腸疾患に対する外科治療-最近の動向-【第31回宮崎大腸肛門疾患研究会】	宮崎市宮崎県医師会館	2009年11月27日
二見喜太郎 (福岡大学筑紫病院)	外科医が考えるレミケード治療の適切なタイミング -内科との連携の重要性-【IBD Surgery & Biologics Seminar】	東京都ホテルメトロポリタン池袋3階「カシオペア」	2009年11月14日
二見喜太郎 (福岡大学筑紫病院)	クローン病穿通型病変に対する治療戦略 外科的処置のポイントおよび生物学的製剤併用意義【第1回IBD Surgical Forum】	福岡市福岡国際会議場	2009年11月7日
二見喜太郎 (福岡大学筑紫病院)	術後経過からみたクローン病治療の課題【第9回北九州クローン病懇話会】	北九州市ステーションホテル小倉 4階	2009年4月23日
三浦総一郎、穂苅量太 (防衛医科大学校)	急激に増えている腸の病気 潰瘍性大腸炎クローン病 市民公開講座	所沢ワルツホール	2009年1月31日
本谷 聡 (札幌厚生病院)	室蘭市医師会学術講演会	ホテルサンルート室蘭	2010年2月27日
本谷 聡 (札幌厚生病院)	第381回苫小牧市医師会学術講演会	グランドホテルニュー王子	2010年1月26日
余田 篤 (大阪医科大学)	小児炎症性腸疾患市民公開講座	TSURUYA ホール	2009年11月14日
十河光栄 (大阪市立大学)	ベーチェット友の会総会	大阪	2009年10月25日
鎌田紀子 (大阪市立大学)	大阪 IBD	大阪	2009年10月18日

## VI. 研究事業報告

厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業  
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」  
平成21年度第1回総会プログラム

期日 平成21年7月30日(木) 9:00~17:00

7月31日(金) 9:00~12:00

場所 味の素(株)本社ビル(東京都中央区京橋1-15-1)

主任研究者 渡辺 守

(東京医科歯科大学消化器病態学)

---

事務局 東京医科歯科大学消化器病態学

担当 中村 哲也・長堀 正和・長沼 誠

TEL: 03-5803-5877 FAX: 03-5803-0268

E-mail: ibd.gast@tmd.ac.jp

---

# 第1回総会について

## 1) 演題発表について

- (1) スライドは、Power Point で作成し、USB フラッシュメモリディスクまたは CD-ROM に保存したものをお持ち下さい。(Windows, Macintosh どちらも対応可能ですが、御自分の PC 以外の機器でも試写してからお持ち下さい。)
- (2) 発表 30 分前までに B1 会場スライド受付までご提出下さい。その際、試写(出力確認)も必ず行ってください。使用したメディアは、画面確認後その場でご返却いたします。
- (3) プロジェクト責任者によるプロジェクト計画・研究成果の発表・報告は7分、討論3分、  
各個研究発表は3分、討論2分でお願い致します。演題登録数が多いため、時間厳守でお願いします。
- (4) 資料を配布される場合には、150部を7月29日午前中必着でIBD班事務局までお送りいただくか当日8時40分までにB1会場までお持ち下さい。

## 2) 発表データについて

厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。不都合のある先生におかれましては、事前に事務局まで御連絡をお願いします。

## 3) 会場セキュリティについて

- (1) 一階玄関ホール総会受付にて芳名録へご署名後、セキュリティカードをお受け取りいただき、改札を通過して地下一階会場へお進みください。
- (2) 館内はセキュリティ制ですのでセキュリティカードを必ず常時携帯してください。退出される際にはカードをご返却ください。カードの紛失があると全館内のセキュリティに支障を来たしますので、くれぐれも紛失ならびにお持ち帰りにならないようご注意ください。

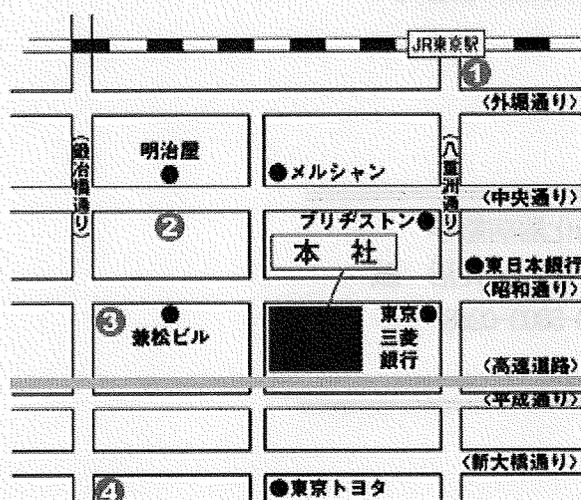
## 4) 懇親会について

7月30日会議終了後、12階カフェテリアにて懇親会を予定しております。

## 5) 駐車場について

駐車スペースはご用意しておりませんので、公共の交通機関をご利用ください。

## 6) 会場案内図 味の素(株)本社ビル 東京都中央区京橋1-15-1 / Tel. 03-5250-8111



- ① JR「東京駅」八重洲中央口 (徒歩10分)
- ② 東京メトロ銀座線「京橋駅」6番出口 (徒歩5分)
- ③ 都営浅草線「宝町駅」A-2出口 (徒歩3分)
- ④ 東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」北口 (徒歩10分)

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業  
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班  
平成21年度第1回総会プログラム

(敬称略)

平成21年7月30日(木)

開会(9:00)

- I. 厚生労働省健康局疾病対策課挨拶 厚生労働省健康局疾病対策課: 渡辺 顕一郎先生  
II. 主任研究者挨拶・研究の進め方 主任研究者: 渡辺 守  
III. 研究報告

p-A) 啓発・広報・専門医育成プロジェクト

- (1) 国民・患者・一般臨床医に対する啓発活動・広報活動・情報企画 (渡辺 守、高後 裕) (9:20~9:35)

総括 高後 裕 旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野

国民・患者・一般臨床医に対する啓発活動・広報活動・情報企画 一般臨床医向け研究成果発表会の開催について

渡辺 守<sup>1</sup>、長堀正和<sup>1</sup>、○高後 裕<sup>2</sup>、蘆田知史<sup>2</sup>、藤谷幹浩<sup>2</sup>、松本譽之<sup>3</sup>、中村志郎<sup>3</sup>、佐々木巖<sup>4</sup>、福島浩平<sup>5</sup>、松井敏幸<sup>6</sup>、岩男 泰<sup>7</sup> (東京医科歯科大学消化器病態学<sup>1</sup>、旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野<sup>2</sup>、兵庫医科大学内科学下部消化管科<sup>3</sup>、東北大学大学院医学系研究科外科病態学生態調節外科学<sup>4</sup>、東北大学大学院消化管再建医工学分野・分子病態外科学分野<sup>5</sup>、福岡大学筑紫病院消化器科<sup>6</sup>、慶應義塾大学包括先進医療センター<sup>7</sup>)

- (2) 専門医育成プログラムの創成 (高後 裕、松本譽之)

総括 高後 裕 旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野

p-B) 総合的疫学解析プロジェクト

- (3) 特定疾患研究30年の総合的疫学解析による疾患構造変化の追究 (武林 亨、廣田良夫) (9:35~10:10)

総括 武林 亨 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学

炎症性腸疾患の記述疫学—臨床調査個人票データより—

○桑原絵里加<sup>1</sup>、朝倉敬子<sup>1</sup>、井上 詠<sup>2</sup>、渡辺 守<sup>3</sup>、武林 亨<sup>1</sup> (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学<sup>1</sup>、慶應義塾大学医学部消化器内科・包括先進医療センター<sup>2</sup>、東京医科歯科大学消化器病態学<sup>3</sup>)

潰瘍性大腸炎のリスク因子に関する多施設共同・症例対照研究 (進捗状況)

○大藤さとこ<sup>1</sup>、福島若葉<sup>1</sup>、廣田良夫<sup>1</sup>、押谷伸英<sup>2</sup>、渡辺憲治<sup>2</sup>、長堀正和<sup>3</sup>、渡辺 守<sup>3</sup> (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学<sup>1</sup>、大阪市立大学大学院医学研究科消化器器官制御内科<sup>2</sup>、東京医科歯科大学消化器病態学<sup>3</sup>、The Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis)

臨床調査個人票改訂ワーキンググループ報告

○岩男 泰<sup>1</sup>、松本主之<sup>2</sup>、小金井一隆<sup>3</sup>、樋田信幸<sup>4</sup>、久部高司<sup>5</sup>、朝倉敬子<sup>6</sup>、長堀正和<sup>7</sup>、渡辺 守<sup>7</sup> (慶應義塾大学内視鏡センター<sup>1</sup>、九州大学大学院病態機能内科学<sup>2</sup>、横浜市立市民病院外科<sup>3</sup>、兵庫医科大学内科学下部消化管<sup>4</sup>、福岡大学筑紫病院消化器科<sup>5</sup>、慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学<sup>6</sup>、東京医科歯科大学消化器病態学<sup>7</sup>)

p-C) 多施設間情報ネットワークプロジェクト

- (4) 研究班を基盤とした多施設臨床研究ネットワーク整備 (日比紀文、武林 亨) (10:10~10:55)

総括 日比紀文 慶應義塾大学医学部消化器内科

潰瘍性大腸炎に対する癌サーベイランス法の確立

○渡邊聡明<sup>1</sup>、味岡洋一<sup>2</sup>、松本譽之<sup>3</sup>、武林 亨<sup>4</sup>、井上永介<sup>5</sup>、飯塚文瑛<sup>6</sup>、五十嵐正広<sup>7</sup>、岩男 泰<sup>8</sup>、大塚和明<sup>9</sup>、工藤 進英<sup>9</sup>、小林清典<sup>10</sup>、佐田美和<sup>10</sup>、田中信治<sup>11</sup>、友次直輝<sup>12</sup>、樋田信幸<sup>13</sup>、平田一郎<sup>13</sup>、松本主之<sup>14</sup>、渡辺憲治<sup>15</sup>、上野文昭<sup>16</sup>、渡辺 守<sup>17</sup>、日比紀文<sup>18</sup> (帝京大学医学部外科<sup>1</sup>、新潟大学大学院医学総合研究科分子・診断病理学分野<sup>2</sup>、兵庫医科大学下部消化管科<sup>3</sup>、慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学<sup>4</sup>、北里大学薬学部臨床統計<sup>5</sup>、東京女子医

科大学消化器病センター<sup>6</sup>、癌研有明病院内科<sup>7</sup>、慶應義塾大学内科<sup>8</sup>、昭和大学横浜市北部病院消化器センター<sup>9</sup>、北里大学東病院内科<sup>10</sup>、広島大学病院内視鏡診療科<sup>11</sup>、慶應義塾大学クリニカルリサーチセンター<sup>12</sup>、藤田保健衛生大学消化器内科<sup>13</sup>、九州大学大学院病態機能内科学<sup>14</sup>、大阪市立大学医学部消化器内科<sup>15</sup>、大船中央病院・消化器肝臓病センター<sup>16</sup>、東京医科歯科大学消化器病態学<sup>17</sup>、慶應義塾大学医学部・消化器内科<sup>18</sup>)

#### JTREAT研究中間解析 第4報

松本譽之<sup>1</sup>、富田寿彦<sup>1</sup>、鈴木康夫<sup>2</sup>、伊藤裕章<sup>3</sup>、緒方晴彦<sup>4</sup>、岡本 晋<sup>4</sup>、○蘆田知史<sup>5</sup>、前本篤男<sup>5</sup>、長沼 誠<sup>6</sup>、渡辺 守<sup>6</sup>、長堀正和<sup>6</sup>、千葉俊美<sup>7</sup>、小林清典<sup>8</sup>、谷島麻利亜<sup>9</sup>、飯塚文瑛<sup>9</sup>、安藤貴文<sup>10</sup>、前田 修<sup>10</sup>、渡辺 修<sup>10</sup>、辻川知之<sup>11</sup>、仲瀬裕志<sup>12</sup>、下立雄一<sup>13</sup>、那須野正尚<sup>13</sup>、本谷 聡<sup>13</sup>、長坂光夫<sup>14</sup>、石黒 陽<sup>15</sup>、佐々木誠人<sup>16</sup>、猿田雅之<sup>17</sup>、高後 裕<sup>18</sup>、日比紀文<sup>1</sup> (兵庫医大下部消化器科<sup>1</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院内科<sup>2</sup>、財団法人田附興風会北野病院<sup>3</sup>、慶應義塾大学医学部消化器内科<sup>4</sup>、旭川医科大学病院・医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院<sup>5</sup>、東京医科歯科大学消化器病態学<sup>6</sup>、岩手医科大学附属病院<sup>7</sup>、北里大学東病院消化器内科<sup>8</sup>、東京女子医科大学消化器センター<sup>9</sup>、名古屋大学大学院医学研究科消化器内科学<sup>10</sup>、滋賀 医科大学医学部附属病院<sup>11</sup>、京都大学大学院医学研究科消化器内科学講座<sup>12</sup>、札幌厚生病院第一消化器科<sup>13</sup>、藤田保健衛生大学消化器内科<sup>14</sup>、弘前大学光学医療診療部<sup>15</sup>、名古屋市立大学大学院医学研究科消化器代謝内科学<sup>16</sup>、東京慈恵会医科大学・消化器肝臓内科<sup>17</sup>、旭川医科大学内科学講座消化器血液腫瘍制御内科学分野<sup>18</sup>)

#### 術後レミケード併用による緩解維持効果

##### 班会議を基盤とする多施設研究グループ

佐々木巖<sup>1</sup>、羽根田祥<sup>1</sup>、小川 仁<sup>1</sup>、鈴木秀幸<sup>1</sup>、武林 亨<sup>2</sup>、渡辺 守<sup>3</sup>、長沼 誠<sup>3</sup>、○福島浩平<sup>4</sup>、岡崎和一<sup>5</sup>、吉岡和彦<sup>6</sup>、仲瀬裕志<sup>7</sup>、井上 詠<sup>8</sup>、日比紀文<sup>9</sup>、千葉俊美<sup>9</sup>、本谷 聡<sup>10</sup>、小澤平太<sup>11</sup>、荒木靖三<sup>12</sup>、太田章比古<sup>13</sup>、橋本拓造<sup>14</sup>、加賀谷尚史<sup>15</sup>、山本隆行<sup>16</sup>、吉川周作<sup>17</sup>、藤田 浩<sup>18</sup>、高木智久<sup>19</sup>、吉田 優<sup>20</sup>、木内喜孝<sup>21</sup>、松田耕一郎<sup>22</sup>、高橋賢一<sup>23</sup>、舟山裕士<sup>23</sup>、友次直輝<sup>24</sup>、井上永介<sup>25</sup>、樋渡信夫<sup>26</sup>、飯島英樹<sup>27</sup>、中村好宏<sup>28</sup> (東北大学大学院生体調節外科学分野<sup>1</sup>、慶義塾大学公衆衛生学<sup>2</sup>、東京医科歯科大学大学院消化器病態学分野<sup>3</sup>、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野<sup>4</sup>、関西医科大学第三内科<sup>5</sup>、関西医科大学付属枚方病院外科<sup>6</sup>、京都大学医学部消化器内科<sup>7</sup>、慶応大学消化器内科<sup>8</sup>、岩手医科大学内科学講座、札幌厚生病院消化器科<sup>9</sup>、北里大学医学部外科<sup>10</sup>、大腸肛門病センターくるめ病院<sup>11</sup>、家田病院肛門科<sup>12</sup>、東京女子医科大学第二外科<sup>13</sup>、金沢大学消化器内科<sup>14</sup>、四日市社会保険病院内科<sup>15</sup>、医療法人衛生会土庫病院奈良大腸肛門病センター<sup>16</sup>、鹿児島大学病院消化器内科<sup>17</sup>、京都府立医科大学消化器内科<sup>18</sup>、神戸大学消化器内科<sup>19</sup>、東北大学大学院消化器病態学分野<sup>20</sup>、富山県立中央病院内科<sup>21</sup>、東北労災病院大腸肛門外科<sup>22</sup>、慶應義塾大学クリニカルリサーチセンター<sup>23</sup>、北里大学臨床統計部門<sup>24</sup>、総合磐城共立病院<sup>25</sup>、大阪大学消化器内科<sup>26</sup>、防衛医科大学<sup>28</sup>)

#### クローン病に対する白血球除去療法の有用性—多施設共同パイロットスタディ計画— (各個研究)

日比紀文<sup>1</sup>、○井上 詠<sup>1</sup>、高山哲朗<sup>1</sup>、長沼 誠<sup>1</sup>、岡本 晋<sup>1</sup>、本谷 聡<sup>2</sup>、鈴木康夫<sup>3</sup>、上野文昭<sup>4</sup>、松本譽之<sup>5</sup>、福田能啓<sup>6</sup>、松井敏幸<sup>7</sup>、渡辺 守<sup>8</sup> (慶應義塾大学医学部消化器内科<sup>1</sup>、札幌厚生病院消化器科<sup>2</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院<sup>3</sup>、大船中央病院<sup>4</sup>、兵庫医科大学病院下部消化器内科<sup>5</sup>、兵庫医科大学篠山病院<sup>6</sup>、福岡大学筑紫病院消化器科<sup>7</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>8</sup>)

#### 炎症性腸疾患患者の妊娠、出産に対する意識調査—アンケートの集計より— (各個研究)

日比紀文<sup>1</sup>、○長沼 誠<sup>1</sup>、佐藤亜沙香<sup>1</sup>、国崎玲子<sup>2</sup>、木村英明<sup>2</sup>、長堀正和<sup>3</sup>、飯塚文瑛<sup>4</sup>、朝倉敬子<sup>5</sup>、西脇祐司<sup>5</sup>、武林 亨<sup>5</sup>、渡辺 守<sup>3</sup> (慶應義塾大学消化器内科<sup>1</sup>、横浜市立大学附属市民総合医療センターIBDセンター<sup>2</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>3</sup>、東京女子医大 IBDセンター<sup>4</sup>、慶應義塾大学衛生学公衆衛生学<sup>5</sup>)

#### ロD)臨床プロジェクト

##### (5)潰瘍性大腸炎の診断基準および重症度基準の改変 (松井敏幸) (10:55~11:10)

総括 松井敏幸 福岡大学筑紫病院消化器科

潰瘍性大腸炎の臨床指標と内視鏡指標の出版計画について

松井敏幸、○平井郁仁 (福岡大学筑紫病院消化器科)

##### (6)クローン病の診断基準の改変 (飯田三雄) (11:10~11:25)

総括 飯田三雄 九州大学大学院病態機能内科学

クローン病診断基準の改変

○飯田三雄 (九州大学大学院病態機能内科学)

(7) 新しい診断デバイス利用による診療の工夫 (飯田三雄) (11:25~11:50)

総括 飯田三雄 九州大学大学院病態機能内科学

クローン病の小腸狭窄に対するバルーン拡張療法

○平井郁仁<sup>1</sup>、松井敏幸<sup>1</sup>、飯田三雄<sup>2</sup> (福岡大学筑紫病院消化器科<sup>1</sup>、九州大学大学院病態機能内科学<sup>2</sup>)  
外来経肛門シングルバルーン小腸内視鏡検査によるクローン病小腸病変観察の有用性 (各個研究)

○十河光栄、渡辺憲治、伊藤良恵、森本謙一、細見周平、高塚正樹、鎌田紀子、山上博一、荒川哲男 (大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学)

炎症性腸疾患におけるCT colonography・enterography—経肛門的炭酸ガス注入による腸管拡張法の検討 (各個研究)

○竹内 健<sup>1</sup>、小山繁彰<sup>2</sup>、新井 修<sup>1</sup>、飯田貴之<sup>1</sup>、阿部仁郎<sup>3</sup>、石丸 啓<sup>3</sup>、小泉雅宏<sup>2</sup>、日比智弘<sup>2</sup>、和田 健<sup>2</sup>、渡辺文利<sup>1</sup>、花井洋行<sup>1</sup> (浜松南病院消化器病・IBDセンター<sup>1</sup>、浜松南病院放射線・画像診断部<sup>2</sup>、浜松南病院外科<sup>3</sup>)

<昼食・幹事会> (12:00~13:00)

pD)臨床プロジェクト

(8) 治療の標準化を目指した指針案改訂 (松本譽之) (13:00~13:35)

総括 松本譽之 兵庫医科大学内科下部消化管科

潰瘍性大腸炎治療指針の改訂案について

クローン病治療指針の改訂案について

(内科) ○松本譽之<sup>1</sup>、中村志郎<sup>1</sup>、福永 健<sup>1</sup>、樋田信幸<sup>1</sup>、應田義雄<sup>1</sup>、安藤 朗<sup>2</sup>、伊藤裕章<sup>3</sup>、岩男 泰<sup>4</sup>、押谷伸英<sup>5</sup>、鈴木康夫<sup>6</sup>、長堀正和<sup>7</sup>、松井敏幸<sup>8</sup>、杉田 昭<sup>9</sup>、佐々木巖<sup>9</sup>、余田 篤<sup>11</sup>、友政 剛<sup>12</sup> (兵庫医科大学内科学下部消化管科<sup>1</sup>、滋賀医科大学消化器内科<sup>2</sup>、北野病院消化器内科<sup>3</sup>、慶応義塾大学消化器内科<sup>4</sup>、大阪市立大学消化器内科<sup>5</sup>、東邦大学佐倉病院消化器病センター<sup>6</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>7</sup>、福岡大学筑紫病院消化器内科<sup>8</sup>、横浜市民病院外科<sup>9</sup>、東北大学生態調節外科<sup>10</sup>、大阪医科大学小児科<sup>11</sup>、パルこどもクリニック<sup>12</sup>)

(小児) ○余田 篤<sup>1</sup>、友政 剛<sup>2</sup>、今野武津子<sup>3</sup>、小林昭夫<sup>4</sup>、牛島高介<sup>5</sup>、鍵本 聖<sup>6</sup>、金子浩章<sup>7</sup>、清水俊明<sup>8</sup>、田尻仁<sup>9</sup>、田原卓浩<sup>10</sup>、豊田 茂<sup>11</sup>、中里 豊<sup>12</sup>、米沢俊一<sup>13</sup>、三木和典<sup>14</sup>、内田恵一<sup>15</sup>、根津理一郎<sup>16</sup>、鈴木康夫<sup>17</sup>、高添正和<sup>18</sup> (大阪医科大学小児科<sup>1</sup>、パルこどもクリニック<sup>2</sup>、札幌厚生病院小児科<sup>3</sup>、昭和大学附属豊洲病院小児科<sup>4</sup>、久留米大学医療センター小児科<sup>5</sup>、埼玉県立小児医療センター総合診療科<sup>6</sup>、みらいこどもクリニック<sup>7</sup>、順天堂大学小児科<sup>8</sup>、大阪府立急性期・総合医療センター小児科<sup>9</sup>、たはらクリニック<sup>10</sup>、神奈川県衛生看護専門学校附属病院小児科<sup>11</sup>、中里小児科<sup>12</sup>、もりおかこども病院小児科<sup>13</sup>、市立伊丹病院小児科<sup>14</sup>、三重大学大学院消化管小児外科学<sup>15</sup>、大阪労災病院外科<sup>16</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院内科<sup>17</sup>、社会保険中央総合病院内科炎症性腸疾患センター<sup>18</sup>)

(外科) ○杉田 昭<sup>1</sup>、佐々木巖<sup>2</sup>、渡邊聡明<sup>3</sup>、亀岡信悟<sup>4</sup>、畠山勝義<sup>5</sup>、二見喜太郎<sup>6</sup>、舟山裕士<sup>7</sup>、楠 正人<sup>8</sup>、根津理一郎<sup>9</sup>、藤井久男<sup>10</sup>、池内浩基<sup>11</sup>、板橋道朗<sup>4</sup>、飯合恒夫<sup>5</sup> (横浜市民病院外科<sup>1</sup>、東北大学生態調節外科<sup>2</sup>、帝京大学外科<sup>3</sup>、東京女子医科大学第二外科<sup>4</sup>、新潟大学消化器・一般外科<sup>5</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>6</sup>、東北労災病院外科・大腸肛門外科<sup>7</sup>、三重大学消化管・小児外科<sup>8</sup>、大阪労災病院外科<sup>9</sup>、奈良県立医大中央内視鏡・超音波部<sup>10</sup>、兵庫医科大学下部消化管外科<sup>11</sup>)

(9) 診療ガイドライン作成・改訂 (上野文昭) (13:35~14:10)

総括 上野文昭 大船中央病院消化器肝臓病センター

クローン病診療ガイドライン：評価過程と最終案

○松井敏幸<sup>1</sup>、渡辺 守<sup>2</sup>、正田良介<sup>3</sup>、樋渡信夫<sup>4</sup>、尾藤誠司<sup>5</sup>、野口善令<sup>6</sup>、渡邊聡明<sup>7</sup>、高橋賢一<sup>8</sup> (福岡大学筑紫病院消化器科<sup>1</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>2</sup>、国立国際医療センター総合外来部<sup>3</sup>、いわき市立総合磐城共立病院<sup>4</sup>、独立行政法人国立病院機構本部研究課臨床疫学推進室<sup>5</sup>、名古屋第2赤十字病院総合内科<sup>6</sup>、帝京大外科<sup>7</sup>、東北労災病院大腸肛門外科<sup>8</sup>)

クローン病診療ガイドラインの研究班内部評価

○上野文昭<sup>1</sup>、松井敏幸<sup>2</sup>、渡辺 守<sup>3</sup> (大船中央病院消化器肝臓病センター<sup>1</sup>、福岡大学筑紫病院消化器科<sup>2</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>3</sup>)

## 潰瘍性大腸炎診療ガイドラインの改訂計画

○上野文昭<sup>1</sup>、松本譽之<sup>2</sup>、伊藤裕章<sup>3</sup>、井上 詠<sup>4</sup>、小林清典<sup>5</sup>、小林健二<sup>6</sup>、杉田 昭<sup>7</sup>、鈴木康夫<sup>8</sup>、野口善令<sup>9</sup>、渡邊聡明<sup>10</sup>、松井敏幸<sup>11</sup>、渡辺 守<sup>12</sup>、正田良介<sup>13</sup>、樋渡信夫<sup>14</sup>、尾藤誠司<sup>15</sup>、日比紀文<sup>16</sup>、中山健夫<sup>17</sup> (大船中央病院消化器肝臓病センター<sup>1</sup>、兵庫医科大学下部消化管科<sup>2</sup>、北野病院炎症性腸疾患センター<sup>3</sup>、慶應義塾大学消化器内科<sup>4</sup>、北里大学東病院消化器内科<sup>5</sup>、大船中央病院内科<sup>6</sup>、横浜市立市民病院外科<sup>7</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院内科<sup>8</sup>、名古屋第2赤十字病院総合内科<sup>9</sup>、帝京大学医学部外科<sup>10</sup>、福岡大学筑紫病院消化器科<sup>11</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>12</sup>、国立国際医療センター総合外来部<sup>13</sup>、いわき市立総合磐城共立病院<sup>14</sup>、独立行政法人国立病院機構本部研究課臨床疫学推進室<sup>15</sup>、慶應義塾大学消化器内科<sup>16</sup>、京都大学健康情報学<sup>17</sup>)

## (10) 内科的治療法の工夫-再発予防の観点から- (鈴木康夫) (14:10~15:00)

### 総括 鈴木康夫 東邦大学医療センター佐倉病院内科

潰瘍性大腸炎合併サイトメガロウイルス腸炎の診断と治療コンセンサス作製プロジェクト

○鈴木康夫<sup>1</sup>、平井郁仁<sup>2</sup>、仲瀬裕志<sup>3</sup>、大宮美香<sup>4</sup>、石黒 陽<sup>5</sup>、山田哲郎<sup>1</sup> (東邦大学医療センター佐倉病院内科<sup>1</sup>、福岡大学筑紫病院消化器科<sup>2</sup>、京都大学消化器内科<sup>3</sup>、関西医科大学枚方病院消化器内科<sup>4</sup>、弘前大学光学医療診療部<sup>5</sup>)  
チオプリン代謝にかかわる MRP4 遺伝子多型の炎症性腸疾患における検討 (各個研究)

○伴 宏充<sup>1</sup>、安藤 朗<sup>1</sup>、馬場重樹<sup>1</sup>、辻川知之<sup>1</sup>、佐々木雅也<sup>2</sup>、藤山佳秀<sup>1</sup> (滋賀医科大学消化器内科<sup>1</sup>、栄養治療部<sup>2</sup>)  
難治性潰瘍性大腸炎に対するサイクロスポリン持続静注療法の効果予測について (各個研究)

○馬場重樹、辻川知之、佐々木雅也、安藤 朗、藤山佳秀 (滋賀医科大学消化器内科)

潰瘍性大腸炎における probiotics 投与の寛解維持効果-単施設二重盲検試験による1年間の検討- (各個研究)

○鈴木康夫、吉松安嗣 (東邦大学医療センター佐倉病院内科)

直腸炎型潰瘍性大腸炎の口側進展と予後に関する研究 (各個研究)

○伊藤貴博<sup>1</sup>、岡本耕太郎<sup>1</sup>、上野伸展<sup>1</sup>、盛一健太郎<sup>1</sup>、前本篤男<sup>2,3</sup>、藤谷幹浩<sup>1</sup>、蘆田知史<sup>2,3</sup>、高後 裕<sup>1</sup> (旭川医科大学内科学講座・消化器血液腫瘍制御内科学分野<sup>1</sup>、旭川医科大学消化管再生修復医学講座<sup>2</sup>、札幌東徳州会 IBD センター<sup>3</sup>)  
Infliximab 抵抗性クローン病への対応：血球成分吸着除去療法 (GCAP/GMA) の可能性 (各個研究)

○本谷 聡<sup>1</sup>、下立雄一<sup>1</sup>、今村哲理<sup>1</sup>、渡邊秀平<sup>2</sup>、那須野正尚<sup>2</sup>、中垣 卓<sup>2</sup>、田中浩紀<sup>2</sup>、細川雅代<sup>2</sup>、有村佳昭<sup>2</sup>、今井浩三<sup>2</sup> (JA 北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター<sup>1</sup>、札幌医科大学第一内科<sup>2</sup>)

小児クローン病に対するインフリキシマブ使用に関する見解 (各個研究)

○田尻 仁<sup>1</sup>、今野武津子<sup>2</sup>、余田 篤<sup>3</sup>、小林昭夫<sup>4</sup>、蛇川大樹<sup>5</sup>、新井勝大<sup>6</sup>、井上 詠<sup>7</sup>、今川智之<sup>8</sup>、上野文昭<sup>9</sup>、牛島高介<sup>10</sup>、内田恵一<sup>11</sup>、鍵本 聖一<sup>12</sup>、金子浩章<sup>13</sup>、河島尚志<sup>14</sup>、佐々木美香<sup>15</sup>、清水俊明<sup>16</sup>、杉田 昭<sup>17</sup>、鈴木康夫<sup>18</sup>、高添正和<sup>19</sup>、豊田 茂<sup>20</sup>、根津理一郎<sup>21</sup>、望月貴博<sup>22</sup>、藤沢卓爾<sup>23</sup>、米沢俊一<sup>24</sup>、横田俊平<sup>25</sup> (大阪府立急性期・総合医療センター小児科<sup>1</sup>、札幌厚生病院小児科<sup>2</sup>、大阪医科大学小児科<sup>3</sup>、昭和大学豊洲病院小児科<sup>4</sup>、宮城県立こども病院総合診療科<sup>5</sup>、国立成育医療センター消化器科<sup>6</sup>、慶應義塾大学消化器内科<sup>7</sup>、横浜市立大学小児科<sup>8</sup>、大船中央病院消化器肝臓病センター<sup>9</sup>、久留米大学医療センター小児科<sup>10</sup>、三重大学医学部第二外科<sup>11</sup>、埼玉県立小児医療センター総合診療科<sup>12</sup>、みらいこどもクリニック<sup>13</sup>、東京医科大学小児科<sup>14</sup>、岩手医科大学小児科<sup>15</sup>、順天堂大学医学部小児科<sup>16</sup>、横浜市立市民病院外科<sup>17</sup>、東邦大学医療センター佐倉病院内科<sup>18</sup>、社会保険中央総合病院内科<sup>19</sup>、神奈川県立汐見台病院小児科<sup>20</sup>、大阪労災病院外科<sup>21</sup>、大阪市立総合医療センター小児科<sup>22</sup>、藤沢こどもクリニック<sup>23</sup>、もりおかこども病院小児科<sup>24</sup>、横浜市立大学小児科<sup>25</sup>)

IBD 手帳 厚生労働省渡辺班版作成-外来診療における効率の良い情報収集活動- (各個研究)

○飯塚文瑛<sup>1</sup>、長堀正和<sup>2</sup>、長沼 誠<sup>3</sup>、国崎玲子<sup>4</sup>、樋田信幸<sup>5</sup> (東京女子医科大学消化器内科<sup>1</sup>、東京医科歯科大学消化器内科<sup>2</sup>、慶應義塾大学医学部消化器内科<sup>3</sup>、横浜市立大学附属市民総合医療センターIBD センター<sup>4</sup>、兵庫医科大学内科学下部消化器科<sup>5</sup>)

## (11) 癌サーベイランス法の確立 (渡邊聡明) (15:00~15:20)

### 総括 渡邊聡明 帝京大学医学部外科

潰瘍性大腸炎、クローン病に合併した小腸、大腸癌-クローン病に合併した大腸癌の surveillance program の検討-

○杉田昭<sup>1</sup>、小金井一隆<sup>1</sup>、二見喜太郎<sup>2</sup>、舟山裕士<sup>3</sup>、池内浩基<sup>4</sup>、根津理一郎<sup>5</sup>、板橋道朗<sup>6</sup>、飯合恒夫<sup>7</sup>、荒木俊光<sup>8</sup>、渡邊聡明<sup>9</sup>、佐々木巖<sup>10</sup> (横浜市立市民病院外科<sup>1</sup>、福岡大学筑紫病院外科<sup>2</sup>、東北労災病院大腸肛門外科<sup>3</sup>、兵庫医科大学